

2019年1月18日

各 位

株式会社 第四銀行
だいし経営コンサルティング 株式会社

株式会社 バイオマスレジン南魚沼への「だいし創業支援ファンド」による出資について

株式会社 第四銀行（頭取：並木 富士雄）と、だいし経営コンサルティング 株式会社（社長：今泉 彰彦）は、共同で設立した「だいし創業支援ファンド」により、株式会社 バイオマスレジン南魚沼（代表取締役社長：神谷 一仁）に出資いたしましたので、お知らせいたします。

株式会社 バイオマスレジン南魚沼は、米や木材といったバイオマス資源を利用したバイオマスプラスチックの製造・販売を行っている企業です。本ファンドで調達した資金は、増産に向けた原材料の仕入れや新規受注に係る試作・実証テストの費用に充当されます。

第四銀行グループでは、これからもコンサルティング機能の発揮により、創業者の皆さまをサポートし、新潟県の地方創生実現に貢献してまいります。

記

1. 投資案件の概要

投資先名	株式会社 バイオマスレジン南魚沼（代表取締役社長：神谷 一仁）
所在地	新潟県南魚沼市寺尾 1300
出資額	10,000 千円
出資金使途	原材料仕入れ、試作・実証テスト費用
企業概要	<ul style="list-style-type: none">・バイオマス資源を利用したプラスチック（バイオマスプラスチック）の製造・販売業者で、さまざまな植物性成分とプラスチック樹脂を混成させる技術を持ち、受注生産方式によるクライアントの仕様に合った商品開発・加工に強みを持つ。また、少量多品種の受注にも対応が可能。・主力製品は米を70%配合したバイオマスプラスチック「ライスレジン」で、すでに複数の大手玩具メーカーから知育玩具の原材料として採用されている。

2. 投資決定のポイント

当ファンドを運営するだいし経営コンサルティング 株式会社では、以下のポイントを中心に総合的に評価し、投資を決定いたしました。

- ・環境問題への対応等から、今後、バイオマスプラスチックの需要拡大が見込まれる。
- ・同社は植物性成分とプラスチック樹脂を混成する技術に強みを持ち、砕米やくず米など食品製造業から出る廃棄物をバイオマスプラスチックの原材料として使用することも可能であり、地元産業との親和性が高い。
- ・また、今後の事業拡大の中で、雇用創出による地域経済への貢献も期待される。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

第四銀行 コンサルティング推進部／高田 電話(025)229-8180

だいし経営コンサルティング／石井 電話(025)226-7605